

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月10日

【四半期会計期間】 第53期第1四半期(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

【会社名】 株式会社エージーピー

【英訳名】 AGP CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山口 栄一

【本店の所在の場所】 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号

【電話番号】 03 - 3747 - 1631

【事務連絡者氏名】 経営企画・財務部長 関谷 岳久

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号

【電話番号】 03 - 3747 - 1631

【事務連絡者氏名】 経営企画・財務部長 関谷 岳久

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第52期 第1四半期 連結累計期間 | 第53期 第1四半期 連結累計期間 | 第52期 |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日 | 自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,777,567 | 2,824,699 | 12,291,716 |
| 経常利益 (千円) | 220,126 | 169,310 | 1,132,384 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 138,110 | 104,072 | 754,423 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 123,054 | 113,647 | 819,280 |
| 純資産額 (千円) | 7,041,647 | 7,684,112 | 7,737,841 |
| 総資産額 (千円) | 12,061,196 | 12,225,565 | 13,196,318 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 9.90 | 7.46 | 54.09 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 58.4 | 62.9 | 58.6 |

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要の持ち直しや、雇用情勢に改善の動きがみられ、緩やかな回復基調が継続しました。

また、海外経済の不確実性や金融市場に不透明感があるものの、米国をはじめ、欧州、アジア地区も総じて景気の持ち直しがみられております。

航空業界では、訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、動力事業、整備事業では増収となったものの、付帯事業ではフードカート販売数が減少したことにより減収となりました。

この結果、売上高合計は28億24百万円と前年同期比47百万円（1.7%）の増収にとどまりました。

営業費用につきましては、労務費等が増加し、26億56百万円と前年同期比66百万円（2.5%）の増加となりました。

以上により、営業利益は1億68百万円と前年同期比18百万円（10.1%）の減益、経常利益は前期に計上した受取補償金の影響により、1億69百万円と前年同期比50百万円（23.1%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4百万円と前年同期比34百万円（24.6%）の減益となりました。前年同期比では増収減益となっておりますが、予定していた利益計画を若干上回る状況で推移しております。

セグメントの業績は次のとおりです。

・動力事業

航空需要拡大に伴う電力供給機会の増加に加え、B787、A350等の使用増加に伴う増収により、売上高は13億44百万円と前年同期比66百万円（5.2%）の増収となりました。

セグメント利益は、上記増収に加え、減価償却費の減少等により、3億2百万円と前年同期比79百万円（35.9%）の増益となりました。

・整備事業

成田・羽田・関西空港における、特殊機械設備整備工事の増加等により、売上高は10億92百万円と前年同期比36百万円（3.5%）の増収となりました。

セグメント利益は、労務費の増加等により、91百万円と前年同期比54百万円（37.3%）の減益となりました。

・付帯事業

低カリウム野菜の販売店舗数の増加や小売電気販売による増収はあるものの、フードカート販売において、当四半期は大型案件がなかったこと等により、売上高は3億88百万円と前年同期比56百万円(12.6%)の減収となりました。

セグメント損益は、23百万円の損失となり、前年同期比30百万円の減益となりました。

(セグメント別業績)

(単位:百万円)

| | 売上高 | | | セグメント利益又は損失() | | |
|------|---------------|---------------|----------|----------------|---------------|----------|
| | 第52期 第1四半期 | 第53期 第1四半期 | 前年同期比(%) | 第52期 第1四半期 | 第53期 第1四半期 | 前年同期比(%) |
| 動力事業 | 1,277 | 1,344 | 105.2 | 222 | 302 | 135.9 |
| 整備事業 | 1,055 | 1,092 | 103.5 | 145 | 91 | 62.7 |
| 付帯事業 | 444 | 388 | 87.4 | 7 | 23 | |
| 合計 | 2,777 | 2,824 | 101.7 | 376 | 370 | 98.6 |
| 全社費用 | | | | 189 | 202 | 107.1 |
| 営業利益 | | | | 187 | 168 | 89.9 |

全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度(以下「前期」という)末比8億86百万円(13.5%)減少の56億95百万円となりました。これは、受取手形及び営業未収入金が10億36百万円、繰延税金資産が54百万円減少し、現金及び預金が1億23百万円、商品及び製品、仕掛品、原材料および貯蔵品等の棚卸資産が1億29百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比83百万円(1.3%)減少の65億30百万円となりました。これは、主に有形固定資産が1億59百万円減少し、投資その他の資産が61百万円増加したことによります。

この結果、総資産は前期末比9億70百万円(7.4%)減少し、122億25百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比9億17百万円(16.8%)減少の45億41百万円となりました。これは、営業未払金が2億29百万円、未払法人税等が1億89百万円、未払金が3億4百万円、未払費用が1億34百万円、流動負債・固定負債を合算した長期借入金が91百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比53百万円(0.7%)減少の76億84百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が63百万円減少したこと等によります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、6百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 52,000,000 |
| 計 | 52,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成29年8月10日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|----------------------|
| 普通株式 | 13,950,000 | 13,950,000 | 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) | 単元株式数は100株で あります。 |
| 計 | 13,950,000 | 13,950,000 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成29年6月30日 | | 13,950,000 | | 2,038,750 | | 114,700 |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|------------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 1,900 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 13,947,300 | 139,473 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 800 | | 1単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 13,950,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 139,473 | |

(注) 「単元未満株式」には当社所有の自己株式80株が含まれております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%) |
|------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社エージーピー | 東京都大田区羽田空港 一丁目7番1号 | 1,900 | | 1,900 | 0.0 |
| 計 | | 1,900 | | 1,900 | 0.0 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,936,076 | 3,059,455 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 2,462,158 | 1,425,993 |
| 商品及び製品 | 81,538 | 99,306 |
| 仕掛品 | 50,637 | 123,085 |
| 原材料及び貯蔵品 | 630,487 | 669,851 |
| 前払費用 | 168,547 | 153,085 |
| 繰延税金資産 | 164,761 | 110,519 |
| その他 | 88,018 | 54,160 |
| 貸倒引当金 | 89 | 89 |
| 流動資産合計 | 6,582,136 | 5,695,369 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,613,015 | 10,636,648 |
| 減価償却累計額 | 8,374,903 | 8,440,450 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,238,111 | 2,196,198 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,488,125 | 9,462,945 |
| 減価償却累計額 | 7,178,187 | 7,169,956 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,309,937 | 2,292,988 |
| 土地 | 110,608 | 110,608 |
| リース資産 | 190,777 | 190,803 |
| 減価償却累計額 | 124,259 | 127,678 |
| リース資産(純額) | 66,518 | 63,124 |
| 建設仮勘定 | 461,261 | 358,297 |
| その他 | 522,391 | 531,864 |
| 減価償却累計額 | 486,070 | 489,630 |
| その他(純額) | 36,320 | 42,234 |
| 有形固定資産合計 | 5,222,757 | 5,063,451 |
| 無形固定資産 | | |
| 特許権 | 70,026 | 67,238 |
| ソフトウェア | 55,168 | 71,518 |
| ソフトウェア仮勘定 | 3,840 | 5,755 |
| その他 | 33,464 | 32,010 |
| 無形固定資産合計 | 162,499 | 176,522 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 209,877 | 268,488 |
| 繰延税金資産 | 564,071 | 563,757 |
| 敷金及び保証金 | 200,828 | 202,378 |
| 長期前払費用 | 36,504 | 34,207 |
| 退職給付に係る資産 | 215,497 | 218,683 |
| その他 | 2,145 | 2,705 |
| 投資その他の資産合計 | 1,228,924 | 1,290,221 |
| 固定資産合計 | 6,614,182 | 6,530,195 |
| 資産合計 | 13,196,318 | 12,225,565 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 833,248 | 603,437 |
| 短期借入金 | 73,500 | 77,787 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 345,732 | 362,882 |
| リース債務 | 28,998 | 29,702 |
| 未払法人税等 | 203,373 | 14,372 |
| 未払消費税等 | 137,662 | 68,739 |
| 未払金 | 352,947 | 47,951 |
| 未払費用 | 512,354 | 377,843 |
| その他 | 32,064 | 126,803 |
| 流動負債合計 | 2,519,880 | 1,709,520 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 848,968 | 740,405 |
| リース債務 | 42,666 | 38,416 |
| 製品保証引当金 | 7,715 | 6,932 |
| 退職給付に係る負債 | 1,968,550 | 1,975,470 |
| 資産除去債務 | 70,694 | 70,706 |
| 固定負債合計 | 2,938,595 | 2,831,932 |
| 負債合計 | 5,458,476 | 4,541,452 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,038,750 | 2,038,750 |
| 資本剰余金 | 114,700 | 114,700 |
| 利益剰余金 | 5,638,585 | 5,575,281 |
| 自己株式 | 694 | 694 |
| 株主資本合計 | 7,791,341 | 7,728,037 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 43,326 | 48,018 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 96,825 | 91,943 |
| その他の包括利益累計額合計 | 53,499 | 43,924 |
| 純資産合計 | 7,737,841 | 7,684,112 |
| 負債純資産合計 | 13,196,318 | 12,225,565 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,777,567 | 2,824,699 |
| 売上原価 | 2,340,991 | 2,389,735 |
| 売上総利益 | 436,576 | 434,963 |
| 販売費及び一般管理費 | 249,565 | 266,849 |
| 営業利益 | 187,011 | 168,113 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 4,594 | 4,018 |
| 保険事務手数料 | 243 | 240 |
| 受取補償金 | 40,199 | - |
| その他 | 268 | 1,050 |
| 営業外収益合計 | 45,306 | 5,309 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,813 | 3,493 |
| 災害復興支援費用 | 3,804 | - |
| その他 | 3,572 | 619 |
| 営業外費用合計 | 12,190 | 4,113 |
| 経常利益 | 220,126 | 169,310 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 6,865 | 8,601 |
| 特別損失合計 | 6,865 | 8,601 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 213,261 | 160,709 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 18,472 | 6,307 |
| 法人税等調整額 | 56,678 | 50,329 |
| 法人税等合計 | 75,150 | 56,636 |
| 四半期純利益 | 138,110 | 104,072 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 138,110 | 104,072 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 138,110 | 104,072 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,007 | 4,692 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,951 | 4,882 |
| その他の包括利益合計 | 15,055 | 9,574 |
| 四半期包括利益 | 123,054 | 113,647 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 123,054 | 113,647 |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 206,136千円 | 199,326千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 139,480 | 10 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月27日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成29年6月20日 定時株主総会 | 普通株式 | 167,376 | 12 | 平成29年3月31日 | 平成29年6月21日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | 動力事業 | 整備事業 | 付帯事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,277,901 | 1,055,476 | 444,188 | 2,777,567 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | - | - | - | - |
| 計 | 1,277,901 | 1,055,476 | 444,188 | 2,777,567 |
| セグメント利益 | 222,578 | 145,952 | 7,535 | 376,066 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 376,066 |
| 全社費用(注) | 189,055 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 187,011 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|-------------------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | 動力事業 | 整備事業 | 付帯事業 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,344,413 | 1,092,152 | 388,132 | 2,824,699 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5,478 | 2,234 | 49,413 | 57,126 |
| 計 | 1,349,892 | 1,094,387 | 437,545 | 2,881,825 |
| セグメント利益又は損失() | 302,570 | 91,516 | 23,457 | 370,629 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 370,629 |
| 全社費用(注) | 202,515 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 168,113 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 9円90銭 | 7円46銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 138,110 | 104,072 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円) | 138,110 | 104,072 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 13,948 | 13,948 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8月10日

株式会社エージーピー
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

| | | |
|--------------------|-------|---------|
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 吉 田 英 志 |
| 指定有限責任社員 業務執行社員 | 公認会計士 | 福 田 慶 久 |

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エージーピーの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エージーピー及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。